

第3回利賀ダム建設事業監理委員会 審議結果

日 時：平成22年7月6日(火) 14:00～16:00

場 所：富山河川国道事務所3F会議室

1. 第2回委員会の審議結果について

- ・第2回委員会の審議結果について説明し、了承を得た。

2. 事業の実施状況等に関する事項について

- ・利賀ダムが有識者会議の中間とりまとめに沿った新たな検証の対象ダムとなっていることについて説明。
- ・平成21～22年度の工事状況、調査・設計の実施状況、用地取得状況を説明。
- ・総事業費1,150億円に対し、事業費ベースで平成21年度末で28.5%の進捗率であり、平成22年度末で30.2%を予定していることを説明し、了承を得た。
- ・事業の実施にあたっては、定期的に事業を再評価する事業評価監視委員会や工事発注時に開催する総合評価審査委員会などにおいて、第三者の方々にも参画頂き、客観的な評価を頂いた上で、事業計画策定や工事発注を実施していることを委員会にきちんと説明すべきとの提案があった。

3. コスト縮減に関する事項について

- ・第2回委員会の審議における「コスト縮減対策検討のプロセス（過程）について説明すべき」との提案を受けて、計画・設計段階、工事施工段階の各段階におけるコスト縮減対策検討のための施策を説明し、了承を得た。
- ・平成21年度までに実際に行ったコスト縮減が739百万円であること説明し、了承を得た。
- ・トンネル、橋梁等でのコスト縮減策等のこれまでの実績を次の同様な工事等どのように生かしていくのかの検討、説明が必要との提案があった。
- ・コスト縮減の取り組み等、技術情報を社会へ発信していくことも重要であるとの提案があった。
- ・事業の実施状況やコスト縮減の検討にあたっては、資料のみではなく、実際の施工現場を見ることも必要であるとの提案があった。

4. その他の事項について

- ・利賀ダムは検証対象であるが、工事用道路9.3kmは将来の国道471号バイパスとして富山県も負担されていることから、生活再建事業として着実に工事を進めるべきとの意見があった。
- ・次回の委員会は、平成23年度になって、概算要求が行われる前に（7月までに）開催するということで了承を得た。